

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照の上作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。足立
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置づける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育にかかわる学級の目標を設定する。	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。 言語環境を整え、教育環境の整備を図る。		一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められているという存在感や安心感をもつことができるようにする。						6年間の学校生活を振り返り、自己の成長を認識させる。		
各教科 読書科	社会「わたしたちのくらしと日本国憲法」憲法の基本的人権の尊重についての理解を深める。 体育(陸上運動)ルールを守り、協力しながら運動する経験を通して公平・協力の態度を身に付ける。	社会「わたしたちの願いを実現する政治」様々な立場の人々の願いを知り、政治の働きでどのように実現されているのかを考える。	国語「地域の防災について話し合おう」お互いの考えや意見を関連付けて述べ合い、話し合っグループにまとめる。	国語「川とノリオ」登場人物の心情を読み取り、生命・平和について考える。	国語「川とノリオ」登場人物の心情を読み取り、生命・平和について考える。	社会「江戸幕府と政治の安定」アイヌの歴史について学び、アイヌの人々が差別を受けた背景を知る	国語「ぼくの世界、君の世界」筆者の意見を尊重し、自分の考えを述べる。	社会「長く続いた戦争と人々のくらし」戦争時の暮らしを調べることを通して、生命・平和の大切さを知る。	社会「世界の中の日本」世界における日本の立場を理解し、世界平和にかかわる態度を育てる。外国人から見た日本の姿を理解する。	体育(ボール運動)協力しながら工夫して練習やゲームを行う経験を通して、公平・協力の態度を身に付ける。	読書科「1年生へ読み聞かせをしよう」1年生に合わせた絵本を選び、読み聞かせをする。	社会「江戸時代の文化を作り上げた人々」差別されていた人々の優れた技術や仕事、江戸時代の文化の発展を支えたことを理解する。
道徳	生命の尊重 生命の尊さを知り、自他の生命を尊重する。	家族愛 家族の幸せを求めて進んで役立とうとする。	公正・公平 だれに対しても差別をしたり偏見をもったりすることなく、公平・公正に接する。	家族愛 家族の幸せを求めて進んで役立とうとする。	思いやり・親切 相手の立場に立って考え、だれに対しても温かい心で接する。	公正・公平 だれに対しても差別をしたり偏見をもったりすることなく、公平・公正に接する。	男女の友情と協力 男女相互に理解を深め、相手の人格を尊重する。	国際理解・親善 外国の人々や異なる文化を理解し、互いに尊重し合う。	生命の尊重 生命の尊さを知り、自他の生命を尊重する。	個性の伸長 自分の個性や長所を知り、それを積極的に伸ばして将来に生かそうとする。		
総合的な学習の時間 外国語科	自分を見つめて 自分の良さに気づき、自分の夢や願いについて考える。		外国語 外国の文化について興味・関心を持ち、外国語を使ってコミュニケーションをとる。						卒業に向けて感謝の気持ちを持ち、卒業記念制作を行う。互いの努力を認め合い、周りの人への感謝を表す。			
特別活動	学級活動 自分や学級の目標を設定し、望ましい人間関係を考える。	運動会 協力し合っ演技をする。友達を応援する。	仲良し班活動 異学年交流を深め、仲良く遊びながら、お互いを認め合う。						ユニセフ募金 互いに助け合うことの大切さに気付く。	学校応援団給食 お世話になっている地域の方々に感謝の気持ちをもつ。	展覧会 友達の良さを認め合い、努力に気付く。	6年生を送る会 学級活動 自己の成長を確認し、中学校に向けて、新たな目標を考える。
その他	みどり学級との交流		人権メッセージ	みどり学級との交流						みどり学級との交流		

「 」 = 個別的な視点からの取組（「 」内は人権課題） ↔ = 関連的な指導 〓 = 「生命尊重」の精神の育成を重点とした指導